

夏休みに防大の千明学生が来所し近況を報告



近況報告に訪れた防大の千明（ちぎら）学生

神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 近藤 一 空尉）は、8月2日（水）、防衛大学校に入校した千明 新（ちぎら あらた）学生の訪問を受けた。

千明学生は、講義や学生舎での共同生活の様子を報告し、儀仗隊に所属して「武道館で行われる自衛隊音楽まつり」に出られるよう、日々練習に励んでいます」と照れながら話した。

また、2学年以降の進路について、陸海空自衛隊の選択を先輩自衛官である広報官に熱心に質問するなどして相談し「大型艦の艦長を目指しては」との言葉に「艦長になる道もあるのですね」と目を輝かせた。

市ヶ尾募集案内所は「今後も入校した学生との連携を継続し、学生生活をサポートするとともに、千明君のような若者を一人でも多く輩出できるように募集活動に励んでいく」と話している。

「あつぎ鮎まつり」で広報官が自衛隊の魅力をPR



海自制服を試着してポーズを取る子供たち

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 岡山 一 海尉）は、8月5日（土）及び6日（日）の2日間、厚木中央公園にて開催された「第71回あつぎ鮎まつり」において自衛官募集相談員、隊友会県央支部の支援を得て、募集広報を実施した。

本まつりは、厚木市最大規模のイベントで、約5万5千人の来場者で賑わい、訪れた若者に募集広告が印刷されたうちわ500本、募集リーフレット200枚を配布した。

また、子供用制服試着コーナーでは、海自制服を試着して写真撮影する多くの来場者が訪れ、広報官が撮影した写真をその場でプリントして提供すると、受け取った家族連れは「夏休みの思い出になります」と話した。

募集コーナーでは、制度説明の他、広報官が自身の部隊での仕事内容や職場でのエピソードを話し、興味を持った若者は「自衛隊でしかできない経験ですね。やってみたいです」と話した。

厚木募集案内所は「今後もイベントに積極的に参加し、自衛隊の魅力をPRするとともに、志願者の獲得に繋げていく」と話している。

青山学院大学ゼミ学生横須賀基地研修を通じて理解を



護衛艦「ゆうぎり」艦上にて

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 山野 太資）は、9月5日（火）、海上自衛隊横須賀基地において青山学院大学ゼミ学生部隊研修を支援した。本研修は、安全保障問題や自衛隊を理解していただくとともに、訓練や生活に関する不安等を払拭させ志願意欲の向上を目的に初めて実施されたもので、学生12名及び教授2名が参加した。

海上自衛隊横須賀基地に到着した学生たちは、初めて見る護衛艦や作業などに従事する自衛官を見て歓声を上げていた。

研修では、午前中、防衛部作戦総括幕僚による防衛講話を受け、とても分かりやすく理解できた」と好評であった。

隊員食堂では、窓の外には、護衛艦3隻が整然と停泊し「とても眺めが良くすばらしい環境ですね」と感激していた。

午後からは、港内クルージング及び艦艇見学を実施し、狭い艦内での活動や生活に驚いていたが、艦内の装備、任務の重要性など丁寧な説明を受け、多くの質問から関心の高さが伺えた。

研修終了後、各学生からは「非常に内容の濃い研修で充実した楽しい一日であった」「今まで知らなかった自衛隊の姿を体感でき興味を持った」などの声が聞かれ、有意義な研修となった。

神奈川地方協力本部は「今後も、多くの若者に自衛隊の活動や任務について理解してもらえよう、積極的に募集広報活動に力を注いでいきたい」と話している。